

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月24日

事業所名:smile

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8 (53.3%)	4 (26.7%)	3 (20.0%)	年齢に応じて居室を分け、体格の違いなどによる危険がないように工夫をしている	
	2 職員の配置数は適切であるか	5 (33.3%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	フォローが必要な部分を共有して適切な人数になるよう工夫をしている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	11 (73.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	ユニット会議や全体の会議を通して職員が関わっている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7 (46.7%)	6 (40.0%)	2 (13.3%)		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5 (33.3%)	5 (33.3%)	4 (26.7%)		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5 (33.3%)	7 (46.7%)	2 (13.3%)		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11 (73.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	事業計画において定期的に職員研修を実施している。また、必要に応じて研修の機会を確保している。	
適切な支	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	利用開始時にアセスメントを行っている。	今後は定期的にアセスメントを実施して計画に反映させていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8 (53.3%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	法人内のものを使用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)	ユニット会議を通して検討をしている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8 (53.3%)	7 (46.7%)	0 (0.0%)	ユニット会議を通して検討。長期休みには個別の課題を用意している	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	状況に応じて課題を設定している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
援の提供	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13 (86.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	出勤時に全体での打ち合わせを実施。その後チームの打ち合わせを行う	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7 (46.7%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	職員によって退勤時間が異なる為、全体での共有は難しい。緊急性が高いものについては正職員や準職員で共有をしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11 (73.3%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	個別支援計画の内容を踏まえ記録を実施している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	個別支援計画策定会議にて検討している。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6 (40.0%)	7 (46.7%)	1 (6.7%)		
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10 (66.7%)	5 (33.3%)	0 (0.0%)	児童発達支援管理責任者やチームの担当職員が参加している	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	必要に応じて随時行っている	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5 (33.3%)	9 (60.0%)	1 (6.7%)	必要に応じて行っている	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9 (60.0%)	6 (40.0%)	0 (0.0%)		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8 (53.3%)	6 (40.0%)	1 (6.7%)		
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4 (26.7%)	6 (60.0%)	2 (13.3%)	必要に応じて連携を図っている	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3 (20.0%)	3 (20.0%)	9 (60.0%)	感染予防の為実施できない	感染状況を踏まえてイベント等を計画していくようにしたい
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2 (13.3%)	9 (60.0%)	4 (26.7%)		
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13 (86.7%)	2 (13.3%)	0 (0.0%)	受け渡しやモニタリングを通して機会を設けている	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントレーニング等の支援を行っているか	6 (40.0%)	6 (40.0%)	3 (20.0%)	対象者がいない	ペアレントレーニングが出来るような支援者を育成していきたい。
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)	契約時に丁寧に説明をしている。また、質問があれば隨時対応している	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10 (66.7%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4 (26.7%)	5 (33.3%)	6 (40.0%)	感染予防の為実施できていない	感染状況を踏まえて計画していくようしたい
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14 (93.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)		
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11 (73.3%)	3 (20.0%)	1 (6.7%)	今年度から毎月広報誌を配布している	
	35 個人情報に十分注意しているか	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	同意書をもらい実施している	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5 (33.3%)	3 (20.0%)	7 (46.7%)	感染予防の為実施できていない	感染状況を踏まえてイベントを計画していくようにしたい
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10 (66.7%)	4 (26.7%)	1 (6.7%)	避難訓練や感染症予防の研修を実施している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11 (73.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	毎年2回の避難訓練を行っている	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12 (80.0%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	権利擁護虐待防止委員会にて年2回の研修を実施している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	12 (80.0%)	3 (20.0%)	0 (0.0%)	権利擁護虐待防止委員会に会議を実施。必要がある場合には同意書をもらっている。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7 (46.7%)	8 (53.3%)	0 (0%)	嗜好調査票を毎年配布し確認を行っている。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12 (80.0%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)	打合せをして全体共有する。定期的にリスク会議を行う。	